

# 板橋区生活状況に関する調査 報告書

令和4年12月





## I 無作為抽出調査（標本調査）

1 調査概要	1
（1）調査目的	1
（2）調査項目	1
（3）調査対象	1
（4）調査期間	1
（5）調査方法	1
（6）調査実施機関	1
（7）標本抽出方法	2
（8）回収結果	2
（9）報告書を読む際の留意点	3
（10）対象者の属性	4
2 定義	6
（1）広義のひきこもり群	6
（2）過去に広義のひきこもり群であったと思われる人の群	9
（3）同居家族でひきこもりの状態にある者	10
3 調査の結果	11
（1）性別	11
（2）年齢	12
（3）同居者	13
（4）同居人数	15
（5）主生計者	16
（6）暮らし向き	17
（7）通院・入院経験のある病気	18
（8）通学状況	20
（9）卒業・在学中の学校	21
（10）これまでの経験	22
（11）不登校のきっかけ	24
（12）現在の就労・就学等の状況	25
（13）働いた経験	27
（14）就職又は進学希望	28
（15）就職活動・進学準備	29
（16）ふだん自宅でよくしていること	30
（17）通信手段でふだん利用しているもの	32
（18）ふだんの外出頻度	34
（19）ひきこもりの状態になってからの期間	36
（20）初めてひきこもりの状態になった年齢	37
（21）家族以外との会話の状況	38
（22）ひきこもりの状態になったきっかけ	39
（23）ひきこもりの状態について、相談機関に相談したいか	41
（24）ひきこもりの状態をどのような機関なら相談したいか	42

(25)	相談したくない理由	45
(26)	関係機関に相談した経験	46
(27)	相談した機関	47
(28)	現在、必要と感じるもの	48
(29)	過去の外出頻度	49
(30)	過去にひきこもりの状態だった期間	50
(31)	過去に初めてひきこもりの状態になった年齢	51
(32)	過去にひきこもりの状態になったきっかけ	53
(33)	ひきこもりの状態ではなくなったきっかけや役立ったこと	55
(34)	感じている危機感や不安なこと	56
(35)	ひきこもりの社会的支援について	57
(36)	支援のあり方についての意見	59
(37)	「ゲートキーパー」の認知度	64
(38)	自殺予防のための対策	64
(39)	同居家族でひきこもりの状態にある者	65
(40)	[同居家族]本人との続柄	65
(41)	[同居家族]性別	66
(42)	[同居家族]年齢	66
(43)	[同居家族]ひきこもりの状態になってからの期間	67
(44)	[同居家族]ふだん自宅でよくしていること	67
(45)	[同居家族]人との交流状況	68
(46)	[同居家族]外出状況	68
(47)	[同居家族]ひきこもりの状態になったきっかけ	69
(48)	[同居家族]相談した機関	70
(49)	[同居家族]現在、必要と思われるもの	71

## II 当事者調査

1	調査概要	72
(1)	調査目的	72
(2)	調査項目	72
(3)	調査対象	72
(4)	調査期間	72
(5)	調査方法	72
(6)	調査実施機関	72
(7)	回収結果	72
(8)	定義	73
2	調査の結果	74
(1)	[回答者]性別	74
(2)	[回答者]年齢	74
(3)	同居家族	75
(4)	ふだんの楽しみ・やりがいに感じていること	75
(5)	感じている不安や危機感	76
(6)	ひきこもりの状態にある者	77
(7)	ひきこもりの状態にある（過去にひきこもりの状態だった）本人との続柄	77

(8) [本人]性別	78
(9) [本人]年齢	78
(10) 人との交流状況	79
(11) 外出状況	79
(12) ひきこもりの状態になってからの期間	80
(13) ひきこもりの状態になったきっかけ	80
(14) ひきこもりの状態になる前に必要だった支援	81
(15) 相談した機関	82
(16) 相談した内容	83
(17) 相談した結果についての意見	84
(18) ひきこもりの状態を変えるために行っていること	86
(19) ひきこもりの状態を変えるために行動を起こしたきっかけ	86
(20) ひきこもりの状態を変えるために、必要・役立つと思うもの	87
(21) ひきこもりに関することで悩む方々への支援等	88
(22) 支援のあり方についての意見	89
3 分析・クロス集計	91
(1) ひきこもりの状態にある者の属性・状況・支援ニーズ等	91
(2) ひきこもりの状態にある（過去にひきこもりの状態であった）本人の回答	92
(3) ひきこもりの状態にある（過去にひきこもりの状態であった）方の家族の回答	116
(4) 本人と家族の回答比較	132
(5) 調査から見てきた課題と支援ニーズ	134